

# 庁議の概要

開催日 令和7年3月25日（火）

## ◎項目

- 1 債務を抱える生活困窮者への相談窓口の周知について
- 2 今週の動き
- 3 離任するメンバーからの挨拶

## ◎内容

### 1 債務を抱える生活困窮者への相談窓口の周知について【子ども・福祉政策部】

生活困窮の方に対しては、生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援機関が、相談支援や就労支援、家計再建支援などを行っている。

債務を抱える生活困窮者に対しては、家計再建支援として家計改善支援事業を実施しており、この中で家計管理に関する支援、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、貸付のあっせん、債務整理に関する支援を行っている。

債務整理に関する支援では、各自治体の「多重債務者相談窓口」等と連携して、債務整理の説明、法テラス等の法律専門家への相談に同席、違法な貸付けや取り立てなどの被害に遭っている場合の警察等へのつなぎを行っており、これによって返済額と終了目標が定まって生活の不安が解消されることで、債務解消による生活の安定が期待される。

債権を管理している所属や外郭団体は、債務者が生活に困窮していると見込まれる場合は、債務者と接する際に、生活困窮者自立相談支援機関等への相談を促す等の対応をお願いしたい。

なお、自立相談支援機関については各市町村の社会福祉協議会に委託しているので、連絡先は市町村の担当又は社会福祉協議会となる。

#### ○知事

公的な貸付機関が不適切な取り立てをするなどして、多重債務者相談窓口の相談対象になるようなことがあってはならない。

生活基盤の自立支援につなげることは債権回収を行う上でも大事なことで、関係機関としっかり連携をしていただきたい。

### 2 今週の動き【各部局】

〈主な協議の概要〉

#### ○健康政策部長

3月28日、県庁において、高知大学と高知県との連携のための基本協定締結式を実施。令和7年度から高知大学医学部において、県内で無痛分娩ができる体制を構築していく。

なお、今後のスケジュールは、令和7年度は、高知大学に県外から医師を招へいし、育成体制を構築。令和8年度は、心臓に疾患があるなど医学的に無痛分娩が望

ましい、いわゆるハイリスクの妊婦への導入。令和9年度は、無痛分娩を希望するローリスクの妊婦にも導入する予定。

#### ○観光振興スポーツ部長

3月29日、香美市のやなせたかし記念館前セレネ広場において、高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」オープニングイベントを開催。同30日には南国市、香美市においてもオープニングセレモニーを開催。この追い風を生かして本県への誘客を拡大するとともに、その効果を県内各地に波及させていく。

なお、3月31日からの「あんぱん」放送開始に伴いパブリックビューイングを開催。高知追手前高校（NHK主催）、奈半利町及び四万十市（県主催）で行う。

#### ○林業振興・環境部長

3月26日、三翠園において、第78回全国植樹祭高知県準備委員会（第3回）を開催。全国植樹祭の基本理念や開催規模、開催候補地を定める基本構想を策定する。

### 3 離任するメンバーからの挨拶

離任する庁議メンバーからの挨拶があった。

#### ○知事

3月24日に2月議会定例会が閉会となり、議案も全て可決をいただいて新年度予算や体制を整えることができた。各部局長の尽力のたまものであり、お礼を申し上げます。

年度末で人事異動もあるが、年度末が期限となっている事業等について、進捗を今一度点検していただきたい。特に、対外的に約束をしているもの、私から目途を示しているものについては年度末までに、それが無理ということであれば年度始めに速やかに報告等していただきたい。

本日が現体制で最後の庁議となる。先程、離任するメンバーからのご挨拶があったが、特にご勇退される方についてはこの数年間、大変ありがとうございました。

本年度の新体制からは人口減少対策をターゲットにしており、中々数値として成果は出ていないが、スポーツや「あんぱん」の放送開始、大阪関西万博といった明るい話題を散りばめながら、県政は軌道に乗ってきていると思う。

皆様方のご尽力に感謝を申し上げますとともに、どうか、新年度以降も県庁の外から応援団として叱咤激励いただけるとありがたい。残る職員一同も、しっかりと志を引き継いで頑張っていくことを誓い、贈る言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。